

平成30年度

事業報告(案)

社会福祉法人 白老宏友会

指定障がい福祉サービス 愛泉園

(生活介護事業)

目 次

1、はじめに	・・・・・・・・ 1
2、日中活動	
◎薬草加工・軽作業	・・・・・・・・ 1
◎療育活動	・・・・・・・・ 2
◎農耕作業	・・・・・・・・ 2
◎給食作業	・・・・・・・・ 3
3、作業工賃	・・・・・・・・ 3
4、職員研修	・・・・・・・・ 3
5、余暇活動支援	・・・・・・・・ 3
6、自治会活動支援	・・・・・・・・ 4
7、事故防止策および事故対応策	・・・・・・・・ 4
8、なんでも相談（苦情解決）	・・・・・・・・ 4
9、保健医療支援	・・・・・・・・ 4
10、管理業務	・・・・・・・・ 4
11、参考資料	・・・・・・・・ 5
12、年間事業実施表	・・・・・・・・ 6

1. はじめに

生活介護事業として、利用者個々が安心して日中活動に取り組めるように施設内の活動環境の構築に努めながら、楽しみと季節を感じられる各種行事への取り組み、軽作業や創作活動に幅広くチャレンジした結果、生産活動に関しては売上総額が3,276,422円（前年比152%）を達成しました。

創作活動においても積極的に取り組み、個々の利用者の活動環境と取り組める活動内容が整ったことで情緒面での安定感がさらに増してきたと考えられます。また、「周年記念事業」として行事をシリーズ化し、函館方面への一泊旅行をはじめ、ニセコへの清流下りや南富良野で開催された「ねむの木学園」の展示会、正装してプロによる撮影会など様々な体験を盛り込み、最終的にDVD化して利用者、保護者へ配布しました。

設備整備関係では、和多志の家の外壁塗装と園舎本体の外壁塗装を行い、環境面では定員規模以上の各種設備と広い敷地の維持管理において、できる範囲での小破修理と衛生的な環境保全について努めてまいりました。

また、平成30年度は胆振東部地震の発生がありましたが、地震での利用者、建物への損害はありませんでした。しかし、停電時の対応として発電機から建物内部への電源供給をスムーズに実施できるよう配線設備工事を実施しております。

職員育成においては、利用者支援や敷地環境の持続的活用を含め青森県への視察を実施し、ニンニクやカシス栽培を学び、旭川では重心重度の利用者支援の現状や上川農業試験場等の視察を行い、就労活動や利用者支援等、実践に役立てております。

平成30年度の平均障害支援区分は4.8と昨年同様。利用者数は定員20名に対し在籍数が25名とこちらも昨年同様となっていますが、高齢の利用者1名が長期入院加療の為3月末で契約解除となっています。

2. 各種活動報告

〈薬草加工作業・軽作業〉

「よもぎのお風呂」「くまささのお風呂（現在生産終了）」の製造販売を行いました。「よもぎのお風呂」については、総数5,500個（前年比76%）、「くまささのお風呂」は総数10個（前年比9%）、総額242,848円（前年比約73%）の売り上げがあった。定期購入の個人売り上げや大口取引先の宿泊施設への納品があった。生産を終了したくまささのお風呂は、在庫分の販売のみに留まった。この活動は原材料費がかからず利益率も高いため利用者への工賃還元を目標にして行うが商品の在り方を検討したい。

委託業務である新聞たみの作業については、安定的に行うことができている。年間売上180,000円（前年比125%）を得ることができ、利用者も継続的に関わることができた。また、季節商品（しめ飾り等の販売）や缶バッジ等を含めたプリント事業の売り上げは2,315,542円、地域事業者からの下請け作業（紙袋の作成）活動（18,351枚、売上69,222円）など軽作業としては2,564,764円（昨年比約158%）の売上を得ることができ、生産活動全体としては総額3,276,422円（昨年比152%）を計上した。

軽作業のクリエイティブ班による活動では、引き続き2020年の国立アイヌ民族博物館開設に向けた土産品事業を継続した。オリジナルアイヌ文様を施した缶バッジ類（カプセルトイ/200円売）を町内8カ所のホテルや小売店で販売し、4,684個を売り上げている。その売り上げの中から1個あたり10円、総額で46,840円をアイヌ民族文化財団へ寄付をした。この他にも、道内（札幌駅、札幌大通り、帯広、新ひだか、さっぽろ雪まつり）・道外（仙台、福岡、那覇）・海外（アメリカ西海岸、ハワイ）などでのPR活動のノベルティとして使用され、総個数約10,000個を販売することができた。



【さっぽろ雪まつりでの販売】



【民族文化財団へ寄付】



【PR 活動 仙台市での様子】

〈療育活動〉

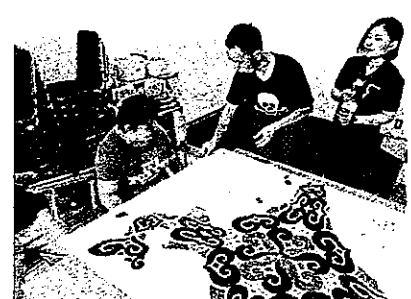
何よりも本人との関係性の構築や障がい特性への理解を深めることを優先し、健康面、保清に配慮して、快適な日中生活を送るための支援を行いました。創作活動では、白老町の紙フェスティバル作品の制作（胆振東部地震によりフェスティバル中止）、愛泉園 35 周年記念作品制作、季節ごとの飾り付けなど、楽しみながら本人の意欲を高めるよう努めました。器具を使用した運動、敷地内の遊歩道をウォーキング、ゲーム機を使用したダンスなどを行い個々の特性に応じた支援内容を提供して、活動的に過ごすための支援を行いました。状態が安定的でない利用者に対しては、心理的なサポートを心掛けて、家族やグループホームとの連携による情報の共有化を図り、精神的な安定を基本として助言や支援を行いました。また、季節に沿った行事や各種行事等にも積極的に参加しています。又、アイヌ民族博物館や商業施設で販売する缶バッジ制作の一端に関わることで、地域振興にも貢献することができました。



【レモンガラスでティータイム】



【ダンスゲーム】



【紙フェス作品制作】

〈農耕作業〉

農耕作業は、共生型事業所におけるご近所野菜市や「ななかまど」での販売を行い、429,060 円（昨年比 267%）の売上があった。また、給食の一部食材として使用することで、新鮮な野菜を利用者に提供することができた。さらに行事等での使用をすることで栽培から消費までを一貫して行うことができた。今年度初めての試みで冬期間中無暖房ハウス栽培を行った。野菜の生育も良く 11 月～3 月まで収穫ができた。その為、目標値を大幅に達成することができた。

昨年好評だったカシスは、冷凍カシスやカシスジャムとして販売し、今年度は挿し木をして作付面積を拡張し、今後愛泉園の資産となるようさらに作付を増やす検討している。

また、青森県へ職員を派遣し、ニンニク栽培、カシス栽培について視察を実施し、重度の利用者でも活動に参加できる農作業への研鑽を進めている。

（生産実績） 園内耕地 たまねぎ、とうもろこし、スティックブロッコリー、おかひじき、ナス、ミニトマト、ピーマン、大根、ほうれん草、カボチャ、きゅうり、枝豆、大葉

サニーレタス、サラダ春菊、オクラ、にんにく、小松菜、正月菜、小ねぎ
チンゲン菜、虹色ほうれん草、春菊、サラダミックス、桃太郎、カシス

〈給食作業〉

給食提供に係る補助業務を行うことで就労意識や本人の自己実現に向けた支援を行いました。仕事に関わることを継続することで本人の意識改革や自分が必要とされているという自尊心を大きく育てることに寄与できたものと思われる。

3. 作業工賃

一律日額 150 円の工賃を支給し、25 名の利用者に対して総額 1,356,778 円（1 人平均年 55,758 円）を工賃として支出した。

4. 職員研修

各種研修への参加を通して見聞を広め、資質の向上を目指した。特に障がい者虐待防止法、人権擁護の研修を強化し行った。法人内研修報告会や事例研究発表会に参加し、資質向上と意識の共有化を図った。さらに新任職員向けの研修、支援会議等でのケース研究、てんかん発作への対応を統一化するための勉強会などを開催した。また、法人独自のマニュアルを活用した新任研修や、インターネット講義（サポートーズ・カレッジ）による基礎的な知識向上を目的とし、重点的に行いました。

その他、青森県の障がい者施設へのニンニクやカシス栽培視察研修、旭川への重心重度の施設視察など職員が実際に現場を見て学ぶ機会を確保した。

5. 余暇活動支援

誕生会については、本人の誕生日に「愛泉園家族の会」の協力を得てプレゼントを用意し皆でお祝いを行った。週末にはカラオケやゲームなどの余暇支援を実施。年間行事では、白老牛のお店を貸し切り忘年会を実施。餅つき新年会、ハロウィンパーティ、節分、ひな祭り、バレンタインデーなど季節的な催しを行い、日常生活とは異なった各種体験の機会を提供することで、心身のリフレッシュ効果を狙う取り組みを行った。また、平成 30 年度は愛泉園 35 周年記念行事として、班ごとに分かれての日帰り旅行や道南方面への一泊旅行。溪流下りや正装しての写真撮影会など、思い出に残るような行事を行った。

他に、屋内外の行事として、調理体験教室（菓子づくりなど）、体育館を貸し切りレクリエーション大会・ゲーム的要素を取り入れた軽運動、近郊の施設への日帰り外出、月 1 度の大画面による映画鑑賞会などを実施し、余暇支援を充実させた。



【冬季レクの様子】



【白老牛の忘年会の様子】



【菓子作り（ホワイトデー）】

6. 自治会（ベストフレンズ）活動の支援

新年会や忘年会、誕生会などの司会進行などは利用者自治会が主体的に実施できるよう支援に勤めた。

7. 事故防止策および事故対応策

マニュアルを活用し、想定されるリスクへの意識を高め、防ぐための対応方法などを常に考慮できる視点を養うことを念頭にして、DVDなどを活用しながら実施した。

胆振東部地震を受け、停電時の施設内部への電源供給をスムーズに行うため、発電機と連結できる配線設備工事を実施した。また、緊急時の連絡網として【ライン】を活用した情報交換を整備した。

8. なんでも相談（苦情解決）支援

本年度においては、なんでも相談受け窓口に寄せられたものはなかったが、ご家族より支援に対する要望や相談はあり都度話し合いを実施し利用者支援に生かす。

9. 保健医療支援

健康診断を行い、利用者の健康管理、維持に係る支援を行なった。また、毎日のバイタルチェックや表情などの観察をして、異変があればグループホームや家庭へ連絡をして必要な対応を行い、事業所での様子などケース会議等で情報の共有化を図った。インフルエンザ予防接種を行い、集団感染を防止するためのうがい、手洗いの励行など対応を行った。また、園内の手すりやドアノブの消毒を習慣化し、感染症予防を行った。てんかん発作を有する利用者については、発作の記録票をもとに家族へ報告を行い、医療対応の参考となるように配慮を行った。

10. 管理業務

予算の適正な執行に心がけ、経費節減に心掛けた。障害支援区分の変更、例年並みの利用率の維持ができた。屋根や外壁の劣化を防ぐため、和多志の家の外壁塗装と内部の掃除、園舎本体の外壁塗装を行いました。また、鹿による被害を防ぐため、フェンスの修繕及び延長を実施。今後も環境整備、不要物品等の処分等を随時行います。職員会議、支援会議、ケース会議等の会議の開催の他、事務部会・運営会議に参加。また、外部の会計事務所の監査を受けることで、会計の透明性を図りました。消防設備点検、浄化槽点検を行い、安全への配慮、設備の維持を行いました。また、災害を想定した（地震、火災）避難訓練を2回実施した。



【和多志の家外壁塗装】



【園舎外壁塗装】



【避難訓練の様子】

11. 参考資料

(1) 平成30年度利用者の状況 (平成31年3月31日現在)

1. 利用状況

(1) 定員及び利用者現員 (人)

事業	定員		現員
生活介護	20	男性	20
		女性	5
計	20		25

(2) 居住状況

在宅	5
グループホーム	20
計	25

2. 利用者の状況

(1) 年齢別

(人)

性別 \ 年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
男性	0	3	11	6	0	0	0	0	20
女性	0	1	1	2	0	1	0	0	5
計	0	4	12	8	0	1	0	0	25
構成比	0.0%	16.0%	48.0%	32.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	100%

* 平均年齢は37.7歳、男性は36.1歳 女性は44.2歳

* 最年少は23歳(男性1名)、最年長は68歳(女性1名)

(2) 障害支援区分別

(人)

性別 \ 区分	1	2	3	4	5	6	計
男性	0	0	0	9	6	5	20
女性	0	0	0	1	4	0	5
計	0	0	0	10	10	5	25
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	100.0%

市町村別利用状況

(人)

行政 \ 区分	1	2	3	4	5	6	計
白老町	0	0	0	5	1	0	6
苫小牧市	0	0	0	1	1	1	3
登別市	0	0	0	2	3	1	6
室蘭市	0	0	0	2	1	3	6
千歳市	0	0	0	0	0	0	0
江別市	0	0	0	0	0	0	0
札幌市	0	0	0	0	3	1	4
計	0	0	0	10	9	6	25

平成30年度 愛泉園年間事業実施表

	行事等 内容	会議・研修 内容	保健衛生・検査・その他等
4月	辞令交付(2日) 法人役員交流会(2日) 誕生会(17日) 屋内活動①(25日)	施設長会議(9日) 法人運営会議(20日)	共生型会議(17日) 職員会議(11日) 支援会議(25日) 会計労務セミナー
5月	誕生会(15日) 花見(8日) 避難訓練/地震想定(31日) 家族の会役員会・総会(2日) 記念植樹(2日)	施設長会議(18日) 内部監査(22日) 理事会(29日) 法人運営会議(25日)	主幹会議(22日・28日) 職員会議(9日) 支援会議(23日)
6月	誕生会(22日) 屋外活動A(19日) B(14日)	福祉人材育成講座②(7日) 共生型運営会議(12日) 法人運営会議(22日) 評議員会(14日) 施設長会議(18日)	主幹会議(4日・11日・18日・25日) 職員会議(16日) 支援会議(27日) ゆからモニタリング(5日・6日) 青森県施設研修(21日・22日)
7月	誕生会(13日) くだもの祭り(11日) カルビー見学A(17日) B(19日) 南富良野みなくる(18日)	区分認定調査(苫小牧市5日・室蘭市3日) 福祉人材育成講座⑤(5日) 法人運営会議(27日) 事務部会(27日) 外部監査(27日) 外部監査総評(30日) 共生型運営会議(31日)	職員会議(4日) 支援会議(25日) 職員会議(15日) 主幹会議(3日・9日・23日・30日) 施設長会議(9日・26日) 野菜市出店者会議(26日)
8月	野菜市販売(3・7・10・14・17・21・24・28・31日) ニセコ日帰り旅行(9日) 誕生会(20日) 共生型事業・寺子屋(7日)	国土交通省設が備テ一出張(1日・2日) 人事労務研修①(8日)②(30日) 内部監査(29日) 法人運営会議(27日)	職員会議(8日) 支援会議(22日) ゆからモニタリング(2日・22日・23日)
9月	野菜市販売(4・7・11・14・18・21・25・28日) 映画鑑賞会(15日) 誕生会(27日) ※一泊旅行(胆振東部地震の影響のため延期)	施設長会議(10日) 理事会(12日) 法人運営会議(25日) 外部監査・事務部会(27日) 外部監査総評(27日) 防災委員会(19日) キャリアパス研修①(18日)	職員会議(1日) 支援会議(29日)
10月	映画鑑賞会(27日) 避難訓練/火災想定(22日) ハロウィンパーティー(30日) フォーマル撮影会(24日)	法人運営会議(29日) 施設長会議(22日) 野菜市出店者後援会議(18日) 室蘭市認定区分調査(31日) オンブズマン来所(12日) キャリアパス研修②(25日)	職員会議(10日) 支援会議(24日) 法人運営会議(23日) 速度行動障がい支援者研修(11日・12日) 知的障がい関係職員研究大会(17日・18日) 施設研修(北海道復興園・あかしあ) (26日)
11月	誕生会(16日) 函館方面一泊旅行(21日・22日)	福祉人材育成講座⑦(1日) 外部監査(21日) 事務部会(26日) 施設長会議(14日・26日) 法人内研修報告会(17日) 共生型運営会議(13日) 防災委員会(12日) キャリアパス研修③(20日) 法人運営会議(19日)	職員会議(14日) 支援会議(28日) 施設長会議(6日・15日・29日) ゆからモニタリング(16日) 胆振圏域集団指導監査(28日) 看護師会議(12日) 新任職員研修(14日・28日)
12月	映画鑑賞会(15日) 愛泉園利用者忘年会(14日) 誕生会(14日)	福祉人材育成講座⑧(6日) 内部監査(11日) 理事会(19日) ポプリ札幌販売・製造協力(27日・28日・29日) 法人運営会議(17日)	職員会議(5日) 支援会議(19日) ゆからモニタリング(10日) 看護師会議(10日) 新任職員研修(4日)
1月	誕生会(16日) 共生型事業・寺子屋(10日) 利用者新年会(12日) 映画鑑賞会(19日) 年頭所感(4日) 白老町新年交礼会(9日) 法人新任職員内定式(11日)	福祉人材育成講座⑩(10日) 外部監査総評・事務部会(30日) 共生型運営会議(22日) 施設長会議(15日) 法人運営会議(21日) 札幌商標登録関連出張(17日)	職員会議(9日) 支援会議(30日) 内部研修(①:8日②:28日) 県生町内会新年会(11日) 日の出町内会新年会(19日) ゆからモニタリング(7日・8日) 苫小牧サポートモニタリング(31日)
2月	新分豆まき(1日) バレンタインデー(14日) 冬季レクリエーション(22日) 誕生会(27日) 神谷とおる氏作品展見学(12日) 映画鑑賞会(9日)	福祉人材育成講座⑪(7日) 施設長会議(14日) 法人内実務実践報告会(16日) 法人運営会議(18日)	職員会議(13日) 支援会議(27日) 後期モニタリング①(26日) 後期モニタリング②(27日)
3月	ひな祭り(1日) 三者面談(7・8・9・14・15・16・22・23日) ホワイトデー(14日) 映画鑑賞会(16日) 誕生会(27日)	内部監査(11日) 理事会(20日) 法人運営会議(18日) 外部監査(22日) 外部監査総評・事務部会(27日)	職員会議(6日) 支援会議(27日)